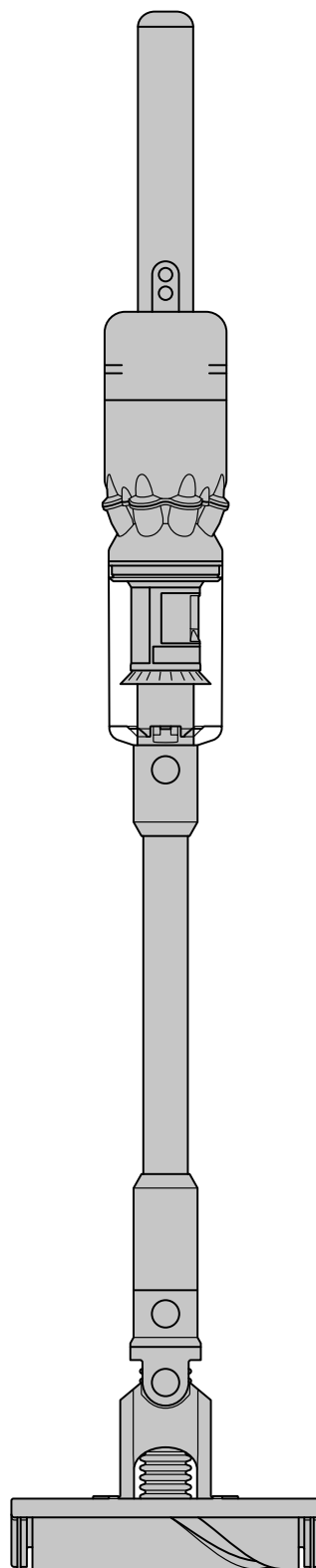


dyson omni-glide

取扱説明書

SV19 充電式コードレスクリーナー (家庭用)



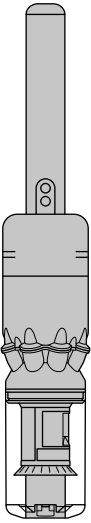
本製品の仕様およびデザインは、予告なしに変更することがあり、また、掲載された仕様やイメージ(イラストや写真)は、実際と異なる場合があります。

目次

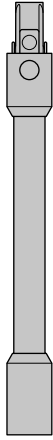
内容品	2	フィルターの洗浄	6
掃除を始める	3	回転ブラシの洗浄	7
充電	4	ツールのお手入れ	8
着脱式バッテリーの交換	4	異物を取り除く	9
クリアビンのゴミを捨てる	5	製品のお手入れ	10
クリアビンの洗浄	5		

内容品

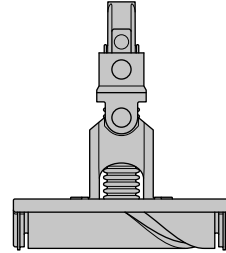
同梱されるツールは機種により異なります。
製品箱に記載の内容品をご確認ください。



本体



パイプ



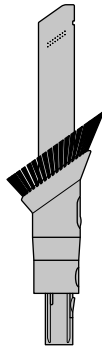
Omnidirectional Fluffy™
(オムニダイレクショナル フラフィ)クリーナーヘッド

フローリングの掃除に適したクリーナーヘッドで、
前後左右の全方向にスムーズにスライドします。



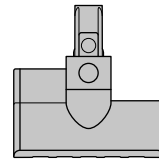
充電器

収納用ブラケットや自立式の
専用充電ドックを使用するか、
または本体に直接接続して充電できます。



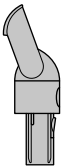
コンビネーション隙間ノズル

2つのツールがひとつに。
ワイドノズルとブラシを素早く切り替えて、
家の中や車内も手際よくお掃除できます。



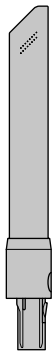
ミニ モーターヘッド

モーターで駆動するナイロンブラシが、
車内やベッド、布団、ソファなどに入り込んだ
ゴミや髪の毛を取り除きます。



卓上ツール

キッチンスペースやテーブルなどの
平らな場所を簡単に掃除できます。

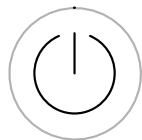


LED隙間ノズル

LEDライトで照らし、暗くて狭い隙間や
届きにくい場所の掃除に便利です。

※ツールは、www.dyson.co.jp からご購入いただけ
ます。在庫状況等により予告なく販売を終
了する場合がございます。予めご了承ください。

掃除を始める



運転のオン/オフ

本製品にはボタン式スイッチを採用しました。
トリガーを引き続ける必要がなく、簡単に持ち手を替えて
家具などの周囲も楽に掃除できます。

MAX



運転モード

運転中にMAXボタンを押すことで
強モードに切り替え可能です。

エコモード

パワフルな吸引力と
適度な運転時間を実現する、
バランスの取れた運転モード。

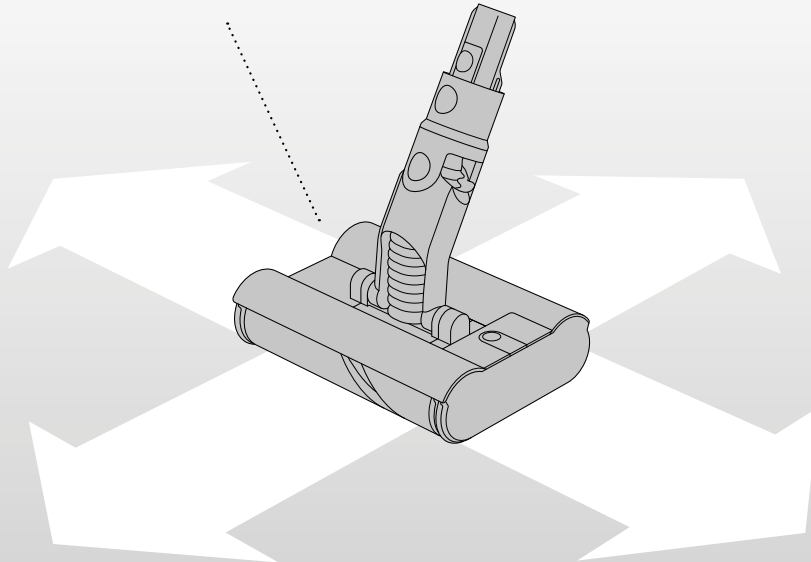
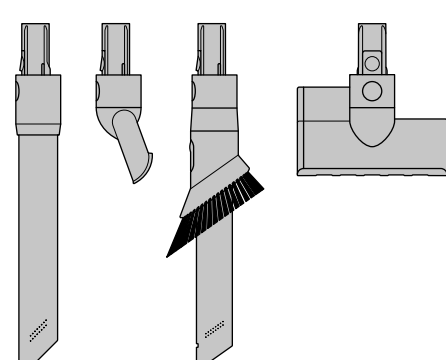
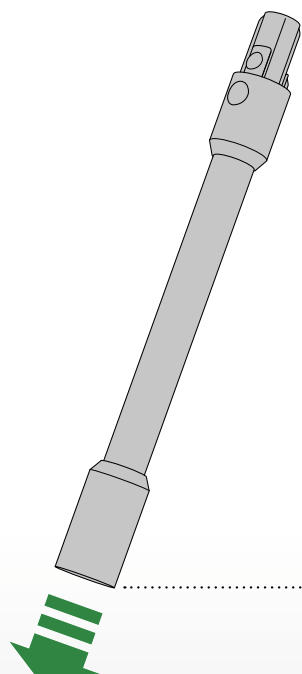
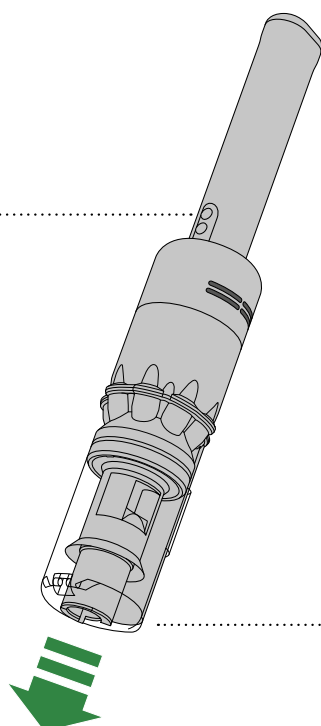
強モード

入り込んだ頑固な汚れも
集中的に掃除できる運転モード。

Omnidirectional Fluffy™ (オムニダイレクショナル フラファイ)

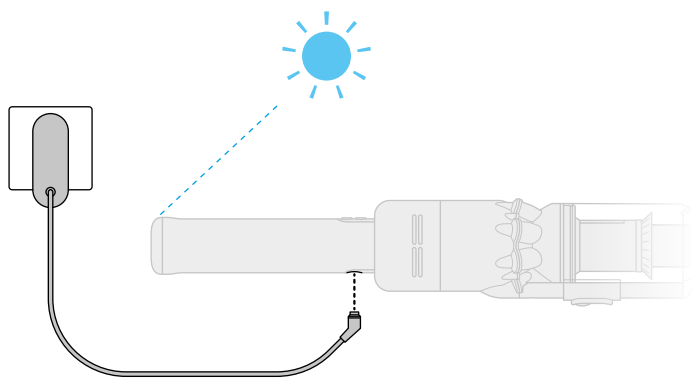
クリーナーヘッド

フローリングの掃除に適した
クリーナーヘッドで、
前後左右の全方向に
スムーズにスライドします。



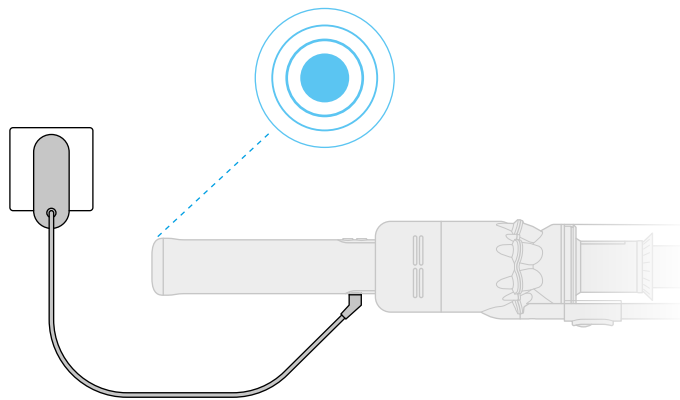
充電

本製品の性能を最大限にご利用いただくため、初めて使用する前と、使用した後は毎回、完全にバッテリーを充電してください。



充電が必要になると、ハンドルにあるLEDライトが点滅します。

本体のハンドル付け根に直接接続して充電するか、または同梱されているリーフレットの手順に従って、収納用ブラケットや自立式の専用充電ドックを使用してください。



ハンドルの先端にある青色のLEDライトがゆっくりと点滅し、バッテリーが充電中であることを示します。充電が完了すると、LEDライトが消灯します。

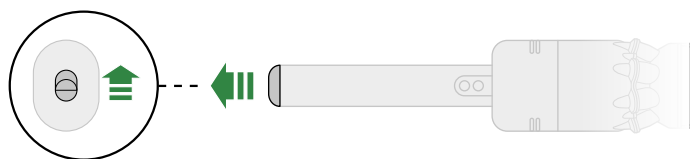
完全に充電するには約3時間半かかります。バッテリーは充電器に接続したままにしてください。

本製品は、モーターとバッテリーの保護のため、5℃以下の環境では作動せず、充電もできません。

製品を使用した後は、すぐ充電するのではなく、少し時間を置いて製品を冷ましてから充電することで、バッテリーの寿命を長く保つことができます。

着脱式バッテリーの交換

ダイソン社純正着脱式バッテリーを2つお持ちの場合は、性能を維持するためにバッテリーを交互に使用することをおすすめします。



バッテリーの取り外し

本体のハンドル上部にあるバッテリー取り外しレバーを引き、バッテリーをハンドルから外してください。バッテリーを充電します。



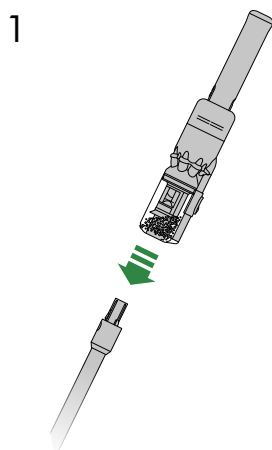
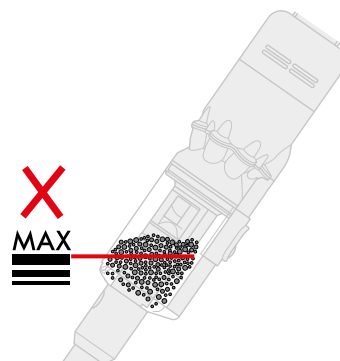
バッテリーの取り付け

バッテリーを本体のハンドルに合わせ、所定の位置にしっかり収まるよう、「カチッ」と音が出るまで差し込みます。

クリアビンのゴミを捨てる

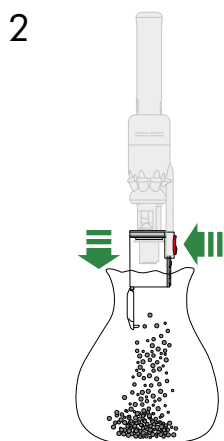
運転停止時のクリアビン内のゴミが、一部でもクリアビンのMAXの一番下のラインに到達したら、ゴミを捨ててください。

ゴミがMAXラインを超えた状態で本製品を使用することは止めてください。ゴミがフィルターまで到達し、より頻りにフィルターのお手入れが必要となります。



1 パイプを取り外す

パイプと本体の接続部分にある赤いボタンを押しながらパイプを引いて、クリアビンからパイプを取り外してください。

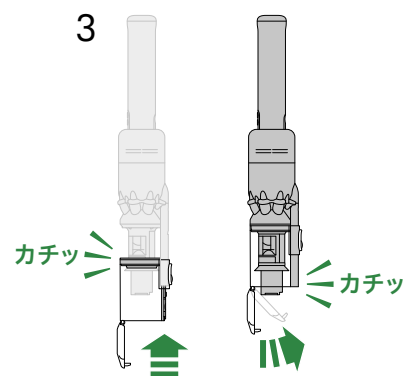


2 ゴミを捨てる

クリアビンが下に向くように本体を持ってください。
電源ボタンを押さないよう注意しながら、クリアビンの後ろにある赤いボタンを押して、クリアビンを下方向に押し出します。クリアビンの底が開き、シュラウドがスライドすることでゴミをこそぎ落とします。
クリアビンが開かない場合は、赤いボタンをしっかりと奥まで押し込んでいるかご確認ください。

3 クリアビンを取り外して、ゴミを取り除く

クリアビンから完全にゴミを取り除けない場合は、クリアビンを外してゴミを取り除いてください。
赤いボタンを押して、クリアビンを下方向に押し出し、フタを開きます。クリアビンの背面にある赤いレバーを白い矢印の方向に押し当ててクリアビンの固定を解除し、クリアビンを引き抜きます。
ホコリとの接触を最低限に抑える
クリアビンをしっかりゴミ袋などで包んでから空にしてください。ゴミ袋から慎重にクリアビンを取り出します。ゴミ袋の口をしっかりと閉じ、通常通り廃棄してください。



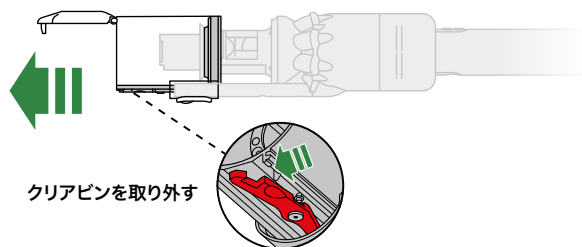
クリアビンを本体に取り付ける

クリアビンを取り外した場合は、クリアビンと本体の溝をあわせ、スライドさせて挿入します。クリアビンとフタがしっかりと元の位置に戻っていることを確認してください。

クリアビンとフタがカチッと音を立てて元の位置に戻るまで、クリアビンの底を上押ししてください。

パイプを再び取り付けます。

クリアビンの洗浄

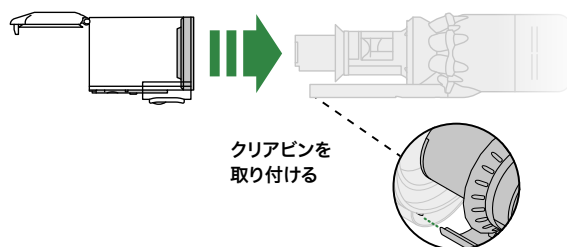


クリアビンを取り外す

クリアビンのお手入れ

「クリアビンのゴミを捨てる」にある説明に従い、クリアビンのゴミを捨ててから、クリアビンをお手入れしてください。

赤いボタンを押して、クリアビンを下方向に押し出し、フタを開きます。クリアビンの背面にある赤いレバーを白い矢印の方向に押し当ててクリアビンの固定を解除し、クリアビンを引き抜きます。



クリアビンを取り付ける

クリアビンを取り付ける

クリアビンと本体の溝をあわせ、スライドさせて挿入します。

カチッと音がするまでクリアビンの底を上押しして、クリアビンを開けてください。

クリアビン水道水で洗い、糸くずの出ない乾いた布で拭きとります。または、水を固く絞った糸くずの出ない布でクリアビンの汚れを拭きとってください。

再度取り付ける前にクリアビンおよびゴムパーツが完全に乾燥していることを確認してください。

クリアビンなどの本製品の部品は食器洗い機に入れしないでください。

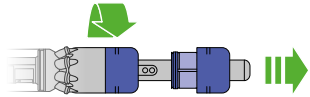
本製品が破損するおそれがあるため、洗剤、研磨剤、エアフレッシュナーなどは使用しないでください。

フィルターの洗浄

フィルターは、最低でも1か月ごとを目安に
水で洗浄してください。

洗浄後、元の位置に取り付ける前に、
フィルターが完全に乾いていることを確認してください。

1



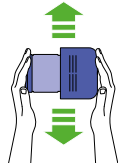
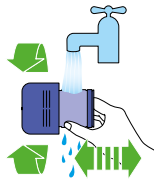
フィルターをひねって取り外します

フィルターなどの本製品の部品は
食器洗い機に入れないでください。
本製品が破損するおそれがあるため、
洗剤、研磨剤、エアフレッシュナーなどは
使用しないでください。

フィルターを反時計回りにひねって
取り外します。

洗浄前にフィルターを軽く叩いて、
ホコリやゴミを取り除きます。

2



フィルターを洗浄します

(冷水ではなく温めの)水道水で
フィルターの外側を指を使って洗浄し、
汚れを取り除いてください。

やさしくフィルターの内側をすすぎます。

すすいだ後の水が濁らなくなるまで水で
フィルターを繰り返し洗ってください。

3



フィルターの水を切り、乾燥させます

フィルターをしっかりと振り、
余分な水を切ります。

フィルターから水が出なくなるまで
振ってください。

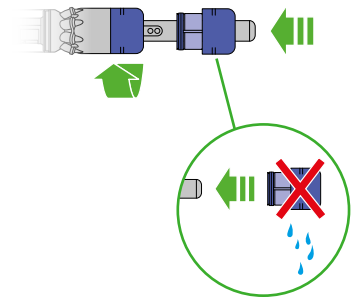
フィルターの筒状の部分を
上に向けた状態で置いてください。

完全に乾燥させます。しっかり水を切った
フィルターを最低24時間、風通しの
良いところに置き、完全に乾いたことを
確認してから本体に取り付けてください。

食器洗浄機、洗濯機、回転式乾燥機、
オープン、電子レンジでフィルターを
乾燥させたり、裸火の近くに置いたり
しないでください。

乾いていないフィルターを装着して本製品を
使用したり、フィルターを装着しないで
本製品を使用することは絶対に止めて
ください。異臭や故障の原因となります。

4



フィルターを取り付ける

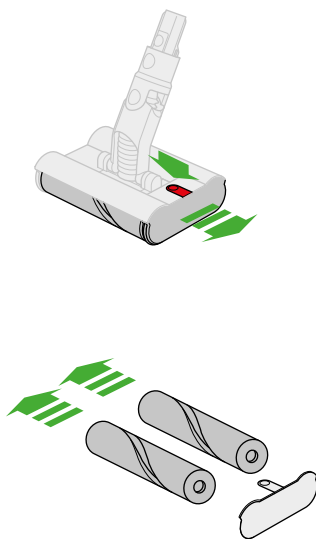
フィルターを本体のハンドル部分に戻し、
時計回りにひねり、元の位置に収めます。

微細なゴミを吸ったり、強モードを
頻繁に使用したり、クリアビンの中のゴミが
一杯の状態で使用すると、
フィルターをより頻繁に
洗浄する必要があります。

回転ブラシの洗浄

本製品を常に最適な状態でお使いいただけるよう、
回転ブラシを定期的に確認し、洗浄してください。

1



回転ブラシを取り外します

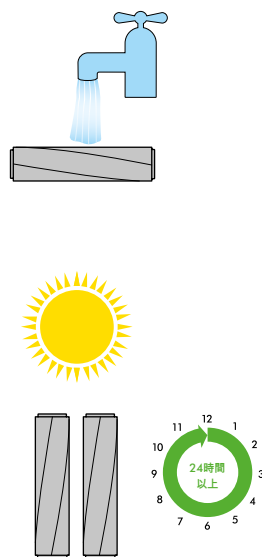
回転ブラシなどの本製品の部品は食器洗い機に入れないでください。本製品が破損するおそれがあるため、洗剤、研磨剤、エアーフレッシュナーなどは使用しないでください。

パイプとクリーナーヘッドの先端にある赤いボタンを押し、クリーナーヘッドを取り外してください。

クリーナーヘッド上部のボタンを押して、回転ブラシを外します。
クリーナーヘッドからスライドさせて外します。

回転ブラシを引っ張り、エンドキャップから取り外します。
エンドキャップは洗浄しないでください。

2

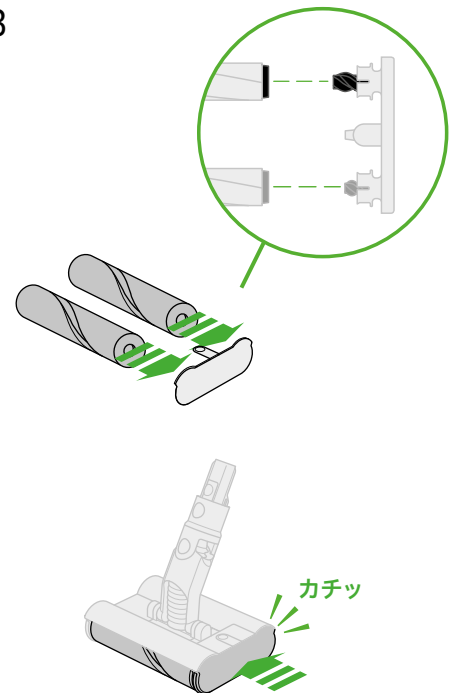


回転ブラシを洗浄し、乾燥させます

(冷水ではなく温めの)水道水で洗い流しながら、軽くこすり、ホコリやゴミを取ります。
すすいだ後の水が濁らなくなるまで水で洗います。

回転ブラシを立てて置き、完全に乾くまで最低24時間乾かしてください。

3



回転ブラシを元の位置に戻す

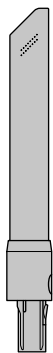
元の位置に戻す前に、完全に乾いていることを確認してください。

ブラシ内部とエンドキャップの軸は前後でそれぞれ色が異なります。ブラシは、エンドキャップの色が同じ軸に取り付けてください。色が異なる軸には取り付けられません。組み立てたブラシをスライドさせてクリーナーヘッドに戻します。

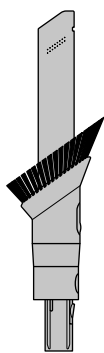
エンドキャップを「カチッ」というまでクリーナーヘッドに押し込みます。

クリーナーヘッドのハウジングは水洗いできません。
湿らせたきれいな布で拭いてください。

ツールのお手入れ



LED隙間ノズル



コンビネーション
隙間ノズル



卓上ツール

ツールは食器洗い機に入れないでください。

本製品が破損するおそれがあるため、洗剤、研磨剤、エアフレッシュナーなどは使用しないでください。

水を固く絞った糸くずの出ない布で拭いてください。

使用する前に、ツールが完全に乾いていることを確認してください。

すべての可動部と伸縮部が完全に乾いていることを確認してください。

ミニ モーターヘッドの回転ブラシは、
電源端子のあるツールのため洗浄できませんので、ご注意ください。
水を固く絞った糸くずの出ない布で拭いてください。

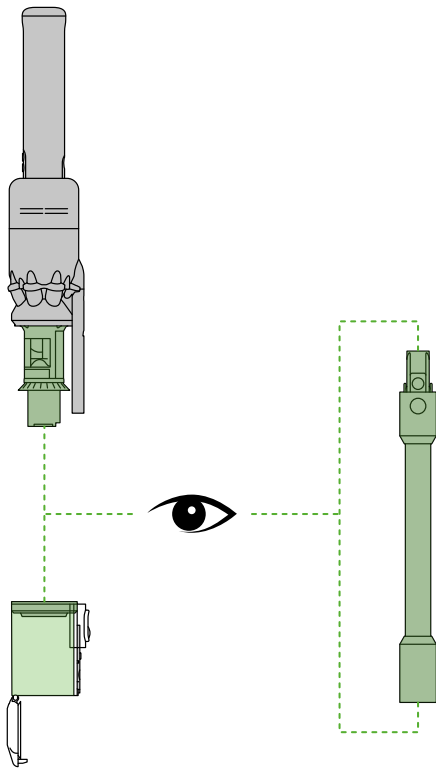
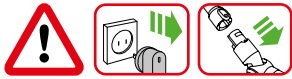
異物を取り除く

本製品は、異物の詰まりを感知すると、モーターがオン・オフをゆっくりと6回繰り返します。異物を取り除くまで、本製品をご使用になれません。

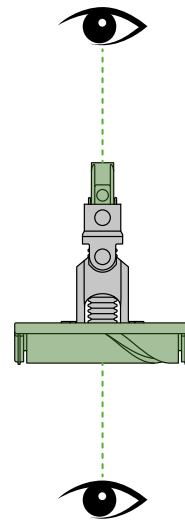
モーターがオン・オフを繰り返している間に使用しようとすると、自動的に電源が切れます。

異物の詰まりを点検する際は、クリーナーの温度が下がるまで待ち、安全のため、電源ボタンに触れないようにご注意ください。

1



2



異物の詰まりを確認する前に、本製品が充電器から取り外されていることを確認します。

異物の詰まりを取り除く際、電源ボタンに触れないようにしてください。尖った物体が挟まっているおそれがあるので、十分に気をつけてください。

本製品を冷ましてから、異物の詰まりを確認してください。

異物の詰まりを確認する際は、電源を入れないでください。ケガをするおそれがあります。

製品のお手入れ

本製品の性能を最大限にご利用いただくために、定期的に本製品のお手入れと異物の詰まりのチェックを行ってください。

製品をお手入れする

製品本体が汚れた場合は、水を固く絞った糸くずの出ない布で拭いてください。

クリーナーヘッド、ツール、製品本体に詰まりがないか確認してください。

フィルターは定期的に洗浄し、完全に乾いたことを確認してから本体に取り付けてください。

本製品本体やフィルター、ツールなどは食器洗い機に入れて洗浄しないでください。
また、洗剤、研磨剤、エアーフレッシュナーなどは使用しないでください。

バッテリーについて

エコモードを使用することで、バッテリーの性能と寿命を長く保つことができます。

本製品は、モーターとバッテリーの保護のため、5℃以下の環境では作動せず、充電もできません。

製造番号(シリアルNo.)

英数字13ケタの製造番号(シリアルNo.) は、バッテリーに記載されており、製品登録の際、必要となります。

製品はこちらからご登録いただけます。

www.dyson.co.jp/reg